



S-KYT研修事業を実施して

神奈川県寒川町消防団

1 はじめに

寒川町は、神奈川県の中央部に位置し、首都圏から50km圏内にあります。

現在の人口は約4万7千人で、県央部を流れる相模川の河口から上流約6kmの右岸に位置し、湘南地域の一角を占めています。

東は藤沢市及び小出川を隔てて茅ヶ崎市に西は相模川を隔てて平塚市、厚木市に、南は茅ヶ崎市に、北は海老名市にそれぞれ接しています。

また、町の中心には、相模国一之宮と称され約千五百年余の歴史を有する寒川神社が鎮座し、全国唯一の方位除・八方除の守護神として年間を通して多くの参拝者が訪れます。

2 寒川町消防団の概要

寒川町消防団の前身である寒川村消防組は、昭和9年寒川村村会において寒川村消防組設置条例により、8部の編成で組織され寒川町消防団の礎が築かれ、その後、消防団令の公布施行により寒川町警防団を寒川町消防団に改組し現在に至っています。

平成24年4月1日現在、10分団1部、団員数175名（うち女性団員1名）で組織し、消防ポンプ自動車3台、小型動力ポンプ付積載車7

台を配備し、住民の安心・安全のため日夜その活動に当たっています。

3 S-KYT研修事業を実施した経緯

寒川町消防団では、隔月開催の分団長会議及び4月開催の消防団員訓練指導会等において、消防団活動時における安全管理及び事故防止について指導して参りましたが、残念なことに消火栓点検中における公務災害事案が発生してしまいました。

消防団員を任用する町として当然、再発防止に向け検討した結果、地域の安心・安全の一翼



を担う消防団員として、まずは自らの身を守ることが最優先と考え、この度、消防基金の協力を得て消防団危険予知訓練を実施する運びとなりました。

4 S - KYT 研修を実施して

平成 24 年 3 月 4 日（日）9 時 30 分から、各分団より指導的立場の団員を対象として参加者 59 人を 10 班に分け S - KYT 研修を実施しました。

今まで、消防団活動における危険予知訓練を行った経緯がなく、当初、戸惑う声も聞こえましたが、研修が進むにつれ大きく声を張り上げ、指差し呼称や唱和、タッチ&コール等を行う掛け声が会場に響き渡りました。

また、講師の方々も元消防職員ということもあり、真剣な眼差しで受講する消防団員が印象的でした。

現場活動をはじめ、訓練や器具点検時においても多くの危険要因が存在する事を再認識でき、今後の安全管理・事故防止対策に大いに役立つ研修であると実感しました。

5 今後の取り組みについて

東日本大震災後、消防団活動が注目されるなか、町民の生命・身体・財産を守るべく消防団員として、まずは「自らの身は自ら守る！」を合い言葉に「公務災害ゼロ」を目指し安全管理意識の高揚を図りたいと考えております。

